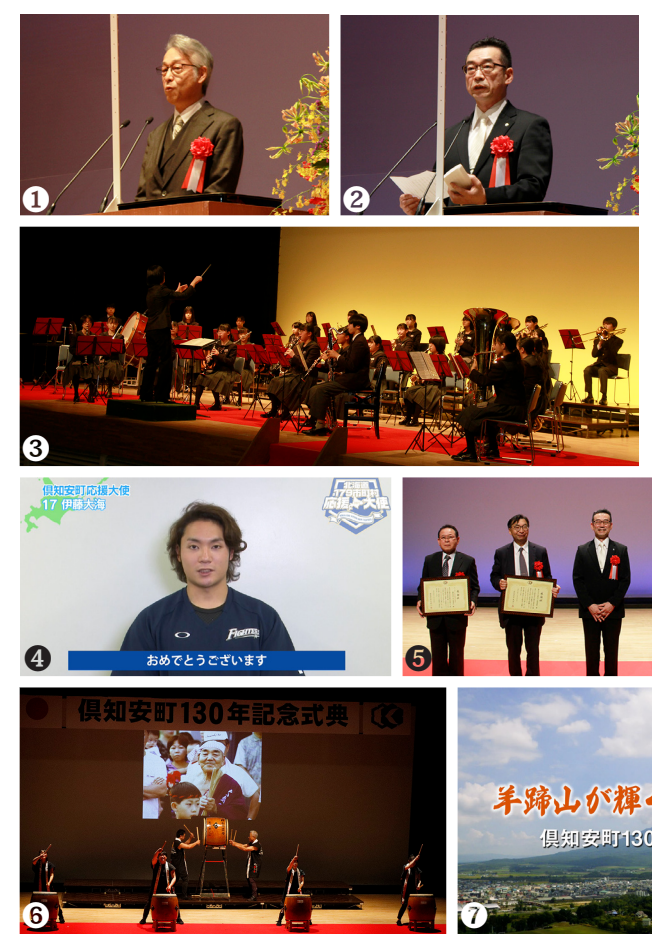


町の歴史を築いた先人に感謝し これからも住み続けたい「ふるさと」に

11月27日(土)、倶知安町130年記念式典が文化福祉センター大ホールで開催され、関係者123名が出席しました。

文字町長は、「130年という記念すべき節目を迎え、今後この町に生活する全ての人が、住んで良かったと感じ、夢をもつて住み続けられる『ふるさと倶知安』をつくるため、町を挙げて取り組んでいきます」と式辞を述べました。

①熊谷副町長による開式のことばで式典が始まる / ②文字町長の式辞 / ③倶知安中学校吹奏楽部による演奏が式典に華を添える / ④2021年倶知安町応援大使の北海道日本ハムファイターズ伊藤大海選手からお祝いのメッセージ / ⑤役場新庁舎建設に携わった事業者へ町長から感謝状の贈呈 / ⑥くっちゃん羊蹄太鼓保存会 鼓流 による圧巻の演奏 / ⑦130年記念映像で町の歴史を振り返る



応援大使と オンラインで交流

北海道日本ハムファイターズ倶知安町応援大使オンライン選手交流会が11月30日(火)、文化福祉センター大ホールで開催されました。

交流会では、2021年の倶知安町応援大使である伊藤大海選手のサイン入りグッズなどが当たる抽選会のほか、伊藤選手とのオンライン交流が行われました。

子どもたちから伊藤選手へ質問する場面では、身長が小さいことを相談した児童に対し、「自分も身体が大きいほうではないが、そんな自分にしかできないこともある。あきらめずに練習を頑張つてほしい」と話し、子どもたちは憧れの選手との交流に目を輝かせていました。

応援大使の就任期間は令和3年12月をもって終了となりますが、今後のさらなる活躍を祈念して伊藤選手へエールを送り、交流会は幕を閉じました。



▲伊藤選手に質問する児童

スポーツ振興くじ助成金で 体育館に新器具設置

総合体育館では、利用者の健康増進やトレーニング環境改善などのために、独立行政法人日本スポーツ振興センターの「令和3年度スポーツ振興くじ助成金(66)」を活用して、トレーニング室内に「レッグプレス/カーフプレス」1台を設置しました。

この助成金は、地域のスポーツ振興を図ることを目的として、スポーツ教室や大会の開催といったスポーツ活動の推進に関する取り組みや、スポーツ施設の整備などを行う市町村・団体などに対して助成されます。

総合体育館では、今後も利用者が快適に利用できるよう努めていきます。



小中学生・高校生が質問 倶知安町子ども議会が開会

参加者に議会を身近に感じてもらうとともに、子どもたちの意見をまちづくりに反映させるため、倶知安町青少年問題協議会・倶知安町教育委員会・倶知安町青少年育成会が毎年実施している「倶知安町子ども議会」が、11月23日(火)に役場3階議場にて開催されました。

今年は町内の小中学校・高校から10名の児童および生徒が参加し、「子ども議員」として、町長や教育長に対して町政に関する質問を行ったほか、議会の進行を担う議長や事務局長の役も倶知安中学校の生徒が務めました。

児童・生徒は質問から答弁までの一連の流れを体験することで、町議会や町政への理解を深めました。



- 町内のインフラについて
路地に入ると車道と歩道の境界がないところがあり危険。整備してほしい。
- 町内の街灯について
街灯が少ない場所があり危険。改良の計画はあるか。
- 総合体育館のユニバーサルデザインについて
総合体育館のトイレを洋式化したらどうか。
2階観客席は車いすでの利用が難しいため、改修を検討してほしい。

- 質問事項 (一部抜粋)
タブレット端末の活用について
コロナの再流行や休校に備えて、タブレット端末を自宅でも使えるようにしてほしい。
- 森林や環境の保護について
ホテルなどの建設が進む中、森林や環境を保護する取り組みは行われているのか。
- 図書室や絵本館について
図書室や絵本館の本を増やしてほしい。
- 学生の自習スペースについて
集中して学習できる自習室のような施設がほしい。

じゃがいもを学ぶ ワークショップ

町特産品「じゃがいも」の調理や生産者の講義などを通じて、食と農業について学ぶ「ポテトアドベンチャー」(主催:立命館大学・立命館慶祥中学校・高等学校)が11月13日(土)・14日(日)に北陽小学校で行われ、同校の4～6年生9名が参加しました。

13日は、オンラインでエクアドルとアルゼンチンの生産者からじゃがいもについて学び、町内生産者との対話が行われました。

14日は、児童と立命館の学生・生徒がオンラインで、じゃがいも料理についてグループワークを実施し、児童が数種類のじゃがいもと具材から好きなものを選び、自分だけのコロッケを考え、調理に挑戦。試食後には、「じゃがいもの種類によって味が違う」「や「おいしいコロッケが作れた」などの感想を全体に向けて発表しました。



▲コロッケ作りを行う様子 (11月14日)

子どもたちが 安心して学べるように

公益社団法人南後志法人会倶知安地区会から、小中学校での感染症対策を目的とした寄付があり、11月24日(水)、村井教育長から本間会長へ感謝状が贈呈されました。

また、税への理解や関心を深めてもらうため、小学4～6年生を対象に南後志法人会女性部会が実施した「税に関する絵はがきコンクール」の表彰式が各校で行われ、次の8名が表彰を受けました。(敬称略)



▲感謝状を受け取る本間英夫会長

最優秀賞	
藤原 愛実 (俱小6年)	
優秀賞	
中島 愛結 (俱小6年)	松本 空 (俱小5年)
ロジャーズ 亜莉 シェー (西小樺山分校5年)	
杉浦 瑠羽 (東小5年)	
女性部会長賞	
松谷 華恋 (東小6年)	
税務署長賞	
湯口 楓 (東小4年)	
努力賞	
千葉 美緒 (俱小5年)	